

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校 2 学年 〈光村図書 版〉

【主題名】 相手を思いやる気持ちを育てる （4 時間扱い）

使用教材：「ぐみの木と小鳥」「ありがとうの手紙」「およげないりすさん」「こまっている子がいるよ」

【養う道徳性 ※関連する内容項目等】

- ・ 友達とは、互いに磨き合い、高め合っていく関係であり、相手の立場に立って考えながら互いの人格の尊重を基盤としており、そのような人間関係を築いていこうとする道徳的態度を養う。
- ・ B 親切, 思いやり B 感謝 C 公正, 公平, 社会正義

【主な学習活動と留意点】

児童生徒の実態 ※肯定的な面やそれを更に伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方

2 年生になって子ども同士の関係の中にも、少しずつぎくしゃくしている姿が見られる。仲は良いが、自分のことだけで精一杯になってしまうところもある。

働かせる見方・考え方：様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること。

	学習活動	配慮点（各教科等、体験活動等との関連）
問題意識を共有する 自分自身との関わりで・ 多面的・多角的に考える 生き方を考え深める	1 教材名「ぐみの木と小鳥」 B 親切, 思いやり (4 月) 中心的な発問 あなたならどんなことを書きますか？ りすになったつもりで書いてみましょう。 登場人物への自我関与 話し合いの工夫 主題「相手を思いやる気持ち!？」の設定	親切にしたり、親切にされたりする日常場面を想起でき、わかりやすい登場人物の姿で考えることができる教材でテーマを設定する。 立場を明確にすることで、自分の思いを出せるようにする。
	2 教材名「ありがとうの手紙」 B 感謝 (7 月) 中心的な発問 『ありがとう』を伝える手紙を書きましょう。 表現の工夫 自らを振り返る	自分自身の気持ちを実際に手紙に表現することで、自らを振り返り感謝の気持ちを抱けるようにする。
	3 教材名「およげないりすさん」 C 公正、公平、社会正義 (10 月) 中心的な発問 島で遊んでいても楽しくなかったみんなは、どんなことを思っていたの？ みんなで楽しく過ごすためには、できることはどんなことでしょうか？ 役割演技の工夫 話し合いの工夫 自らを振り返る	「みんながどんな思いだったか」友と話し合うことで、多面的・多角的に考えることができるようにする。
	4 教材名「こまっている子がいるよ」 B 親切, 思いやり (11 月) 中心的な発問 あなたが『こまっている子』だったら、どうしてほしいと思いますか？ 話し合いの工夫 自らを振り返る 主題「相手を思いやる気持ち!？」を自己評価	日常生活の中で考え続けることに少しでもつながるように、主題を振り返る場を設ける。

学級活動
(1) イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
・ 学級開き

国語
B 書くこと
・ 感謝の手紙

生活
〔自分自身の生活や成長〕

図工
A 表現
・ 色や大きさ
・ 文字を書く道具

学校行事
(4) 遠足・集団宿泊的行事

学級活動
(2) イ よりよい人間関係の形成

次学年へのつながり（児童生徒に願う姿）

相手の立場に立って考え、お互いを尊重し合える人間関係を築いていこうとする気持ちを育てる。